

「法定調書顧問」平成21年度年末調整対応版 概要 (Ver.H21.1)

「法定調書顧問Ver.H21.1」で対応予定の内容についてご案内致します。

1. データの利用について

データ移行保証バージョン・・・Ver.H20.x以降

上記のバージョンからデータ移行が可能です。

＜上記以外のバージョンをお使いの場合＞

バージョンアップの際にデータが正常に変換できない可能性があります。変換ができない場合はデータを新たに
入れ直してお使いいただくことになります。変換後のデータをよくお確かめいただきご利用ください。

概要のバージョンの表記について

「Ver.H21.1」のように小数点以下 2 桁目は省略して記載しています。正確なバージョンはシステム起動後の [ヘルプ] - [バージョン情報] で確認できます。

2. 法改正の内容とシステムの対応について

システムに關係する法改正の内容と、システムの対応内容は次のとおりです。

■給与所得の源泉徴収票の記載事項の変更への対応

個人住民税における住宅借入金等特別税額控除制度が創設されたことに伴い、給与所得の源泉徴収票について、居住年ごとの「居住開始年月日」「住宅借入金等の金額」等の記載に関する所要の整備が行われました。この改正に伴い、システムでは以下のとおり対応します。

・年末調整／一覧入力

「住宅借入金等」欄に「控除の種類」「年末残高」「控除適用数」項目を追加し、「居住開始日」「控除の種類」「年末残高」については 1 回目、2 回目にわけて入力を可能とします。

・給与支払報告書／源泉徴収票

摘要欄に自動転記される内容を改正に合わせて変更します。

3. 機能アップ等による変更点

■締日の柔軟な設定

・支払日の設定範囲の変更

「月別支払日」の入力範囲は選択された月の1日～月末日まででしたが、その前後1カ月間も入力できるようになります。

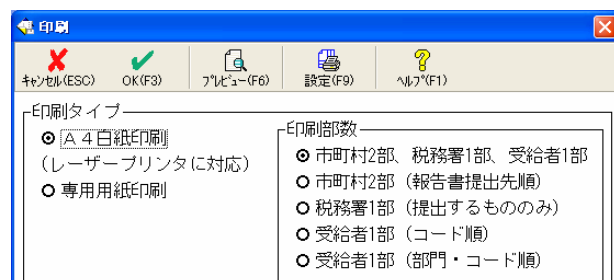
処理月	月別支払日		
	前1ヵ月	通常	後1ヵ月
1月		1月 xx 日	
2月		2月 xx 日	
3月	2月 xx 日	3月 xx 日	4月 xx 日
...	
12月		12月 xx 日	

■源泉徴収票 部数設定対応

給与支払報告書/源泉徴収票の A4 白紙印刷で、印刷部数の選択を可能にします。

以下の選択肢から印刷部数を選択します。

- ・市町村 2 部、税務署 1 部、受給者 1 部
- ・市町村 2 部（報告書提出先順）
- ・税務署 1 部（提出するもののみ）
- ・受給者 1 部（コード順）
- ・受給者 1 部（部門・コード順）



■源泉徴収簿 済（変）対応

源泉徴収簿に表示される「済（変）」が年末調整にかかわる内容の変更時のみとなるよう仕組みを見直します。

■セットアップ

- ・セットアップランチャーについて
CD をセットするとセットアップランチャー画面が自動起動し、PC 上でセットアップ手順を確認しながらセットアップを行う形式に変更されます。
- ・セットアップ完了後の処理について
セットアップが完了すると、画面に「オンライン登録サイトを起動する」のチェックが表示されます。チェックを入れたまま<完了>をクリックすると、オンライン登録サイト（マイページ）が表示されます。必要に応じてユーザー登録および製品登録を行います。
- ・起動時の製品解説について
平成20年度版ではセットアップ後起動すると、機能アップ解説資料（PDF ファイル）が自動起動しましたが、Ver.H21.10では「今回の変更点」画面の起動となり、直接 PDF ファイルは起動しなくなります。

■データ選択・保守画面

- ・画面タイトルにバージョンを表示するよう対応します。
- ・電子マニュアルを起動する<マニュアル>ボタンを追加します。（起動後のメニュー画面のメニューバーからも選択できます。）

■年末調整／一覧入力

年末調整／一覧入力画面上で従業員ごと直接源泉徴収簿の処理ができるよう<源泉徴収簿>ボタンを追加します。

氏名	木村 敏明	青田
フリガナ	キムラ トシキ	アサヒ
	源泉徴収簿	
番号	191-0033	155
	日野市百草999-9	東京

4. 「電子申告応援」をご利用のお客様

電子申告更新用プログラムは、法定調書顧問 Ver.H21.1での21年度の法定調書関係の電子申告を可能とするVer.H21.10.e1（2010年1月リリース）をご提供する予定です。
詳細につきましては、別途ご連絡いたします。

5. データの互換性について

InterKX給与計算・法定調書、給与応援Superネットワーク版／スタンドアロン版、給与応援Lite、法定調書顧問は同じバージョンでデータの互換性があります。ただし、法定調書顧問に移行する場合は、移行する前に年末調整メニューの<年末調整／一覧入力>で<年調計算>を実行してください。同じバージョン間で会社データを移行する場合は、バックアップとリストアで行います。法定調書顧問よりデータをInterKX給与計算・法定調書、給与応援Superネットワーク版／スタンドアロン版、給与応援Liteにリストアする場合で、年末調整のみ行う場合は、リストア後、設定メニューの<計算条件>で年末調整の使用方法が「年末調整のみ使用」になっていることを確認してから年調処理を行ってください。

6. 動作環境

動作環境	詳 細
基本ソフト	Windows®Vista/XP/2000/※1
CPU	Windows Vista：800MHz 以上（1GHz 以上を推奨） Windows® 2000：PentiumⅡ 以上（400 MHz 以上を推奨） Windows® XP：PentiumⅡ 400MHz 以上（PentiumⅢ 500 MHz 以上を推奨）
メモリ	Windows Vista：512MB（1GB 以上推奨） Windows® 2000 Professional：64 MB 以上（128 MB 以上を推奨） Windows®XP/Windows® 2000 Server：128 MB 以上（256 MB 以上を推奨）
ディスプレイ （解像度）	1024×768（小さいフォント）以上（Windows XP の場合は「標準のフォント」） 表示色：High Color（16ビット）以上推奨
HDD	データ容量：初期値4MB+（登録会社数×2.7MB） プログラム容量：56MB以上 上記以外に必要な容量：郵便番号辞書もセットアップする場合は、上記に加えて約20MB以上必要
プリンタ	上記対応 OS で使用可能なページプリンタ・インクジェットプリンタ 複写能力5枚以上で136桁の印刷ができるインパクトプリンタ（EPSON製VPシリーズ）

※1 Windows®95、Windows98、Windows Me、Windows NT4.0は動作対象外です。

7. プロダクトIDについて

プログラムのセットアップ（インストール）時にプロダクトIDを入力していただきます。プロダクトIDは製品固有の24桁の数字で、同一のプロダクトIDは存在しません。1つの製品を複数のコンピュータにセットアップされた場合、2台目以降では、別のプロダクトIDを入力されるまでプログラムの起動ができなくなります。プロダクトIDが記載されたラベルは、CD-ROMのケース（ライセンス商品の場合はライセンス使用許諾証）に貼られます。詳細は改版商品に同梱のご案内（手順書）をご参照ください。

ライセンス商品のご案内

「応援シリーズ」で、同一プログラム（スタンドアロン版）を複数本使用される場合、2本目以降のライセンス商品（及び年間プログラム保守契約）を割安価格でご用意しています。

■ライセンス商品はこんなときに最適です。

- ①企業又は会計事務所内において、複数台のパソコンで使用する場合
- ②本社以外の出先拠点（支社、営業所等）において使用する場合
- ③会計事務所において、在宅処理や外出先処理（モバイル用途）等の所外で使用する場合
- ④学校等の教育用途として使用する場合

【著作権・使用許諾契約について】プログラムを使用するには、著作権法及び使用権許諾契約により、1台のコンピュータにつき1ライセンスの使用許諾が必要です。